

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・基準に基づいた設備となっている。
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・配置基準に基づいた職員配置を行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・スロープ、身障者用トイレの設置、手すりの設置をしている。 ・階段、段差をなくすだけでなく、必要に応じて段差を積極的に利用し、子どもの危機管理能力の向上につなげている。 ・生活空間について、適宜パーテーションを使用したり個室を使うなど集中のしやすさへの配慮をしている。 ・一人一人の発達に合わせた情報伝達の方法を工夫して対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・生活空間の中に、季節が感じられる飾りつけを意識して行っている。 ・活動内容によって、活動スペースを仕切り個室をつくるなどして活動している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・毎月1回の事業所内会議、毎月2回の法人内会議にて、必要に応じて業務改善についての話し合いを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・保護者アンケートにより保護者等の意向を把握しています。また、茶話会や面談等を通して、保護者が意見を伝えやすい雰囲気づくりに配慮している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・平成30年度より実施。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・第三者評価は未実施だが、苦情解決についての第三者委員の設置、また評議員会を設置することで、事業所への意見等を把握し業務改善につなげている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・法人内研修の実施や、外部研修への参加を取り入れている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・年度ごとに、保護者と最新の情報や保護者の希望を把握、共有しアセスメントを作成している。アセスメント以外にも、相談支援専門員や他の利用事業所、通院先との連携を図り、それらの情報を基に支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・事業所内で統一したアセスメントツールを活用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら支援内容を設定しているが、「地域支援」の内容に不十分さを感じる。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・定期的に職員間でモニタリングを行い、保護者とも共通理解を図りながら、児童発達支援計画に沿った支援が行えるよう心掛けている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・担当者の発案をもとに、職員間で情報を共有しながら活動プログラムの内容を検討し、進めている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・季節に合わせた活動や行事を取り入れ、年間を通して様々な活動を行うことができるようにしている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・子どもの状況や活動のねらいに応じて、個別活動と集団活動(保育園との統合保育)とを組み合わせながら行えるよう、支援計画を作成している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・各担当者は、その日の支援の振り返りを毎日記録に残している。その日のうちに共有すべきことは、職員間で共有をしているが、細かな支援の振り返りの共有までには至らないこともある。今後、支援の振り返りを共有する時間の確保や方法の工夫を検討していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・半期に一度はモニタリングと支援計画の見直しを行い、保護者との面談を行って確認をしてもらっている。	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。必要に応じてその他の職員も参加できるようにしている。	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・対象となる利用者がいない。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて、学校訪問や書面の提出をし、情報共有を行っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他事業所で実施される研修会に出席している。 ・1か月に一度、豊川市内の児童発達支援事業所が集まる会議に参加し、連携を図るとともに、研修の場ともなっている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		・隣接した保育園との統合保育を行っている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・豊川市内の児童発達支援事業所が集まる会議があり、その会議の代表者が子ども部会に参加している。また、会議の中で子ども部会の報告を共有している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日々の送迎の際に、一日の様子を報告している。また、保護者の希望により、やりとりノートを使い、書面での情報共有をすることもある。子どもや保護者の状況により、また定期的に面談を行い共通理解を図っている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・必要に応じて母子通園を行ってもらい、保護者の子どもへの関わり方について学ぶ機会としている。また、必要に応じて家庭訪問を行い、家庭での子どもへの対応の仕方の工夫などを支援している。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・利用開始時、また継続の方は1年に一度、契約書や重要事項説明書について説明をしている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を作成しており、支援計画については定期的な面談の際に説明を行い同意を得ているが、ガイドラインについての説明は行っていない。今後、ガイドラインについての説明や周知の仕方を検討していく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・定期的な面談の他、保護者の様子を気にかけて、随時面談を行い相談に応じている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・定期的に茶話会を開き、保護者同士の交流の場としている。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・契約時に、相談・苦情受付窓口や担当者、第三者委員などの設置を伝えている。また、対応マニュアルを整備し、迅速に対応できるようにしている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月に一度「やまばとだより」を発行し、行事予定などを伝えている。その他、行事ごとにお便りを発行し、活動概要等を伝えている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・随時、職員間で情報の取り扱いについて留意するよう確認している。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・必要に応じて、その人に合わせた個別の対応をしている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人として夏祭りを行い地域住民の方を招待したり、地域清掃に事業所職員が参加するなど、地域との交流を図っている。
	非常時等	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・毎月、避難訓練を実施している。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		・契約時に、子どもの疾病や服薬状況、てんかん発作の有無を把握している。日々の中でも、状況が変わった場合は、その都度保護者より情報を提供してもらうよう連携をとっている。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・対象となる子どもがいない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットがあった際は記録に残し、すぐに関係職員、管理者、児童発達支援管理責任者でヒヤリハットの検証と再発防止について話し合い、その情報を職員間で共有するようにしている。また、職員会議にて、再度情報共有をし再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	・虐待防止について、会議などで情報提供をしているが、研修機会の確保が十分ではない。今後、改善をしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束になるうる可能性がある場合は、保護者への確認や説明を行い、支援計画に盛り込むようにしている。